

【ESD学習支援活動】 第18回 子どもおん祭 支援報告書

社会科教育専修 学部1回生 仲村幸奈

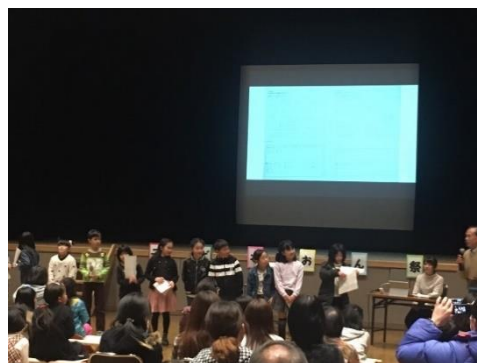
1. 日時 平成29年11月25日(土)～26日(日)(※25日は前日準備)
2. 場所 奈良市ならまちセンター(奈良市東寺林町38番地)
3. 参加者 【前日】11月25日(土)
春日千鶴葉、栗谷正樹(社会 修士2回生) 久保田真平(心理 学部1回生)
種瀬史歩(理科 学部1回生) 仲村幸奈(社会 学部1回生)
【当日】11月26日(日)
太田あすか、楠大輔(社会 学部4回生) 川本渚月(数学 学部4回生)
池上岳昭、谷垣徹(英語 学部4回生) 久保田真平(心理 学部1回生)
仲村幸奈(社会 学部1回生)

4. 活動支援報告

平成29年11月26日(日)、ならまちセンターにおいて、第18回子どもおん祭が開催された。私たち学生は、25日(土)の前日準備から子どもおん祭当日にかけて支援を行った。

今回の支援を通して、私が感じたことを、活動を振り返りながら二つ述べる。一つ目は、子どもから学ぶということについて、二つ目は子どもおん祭の在り方についてである。

一つ目は、子どもから学ぶということについてである。子どもおん祭の午前の部に、「飛鳥小学校による春日若宮おん祭の学習発表」があった。その発表の中で、一人の子どもが「百人の人を集めるのが大変なら、私とその百人のうちの一人になります。(おん祭をこれからも続けていくためにたくさんの人の協力が必要であるという話から。)」と、学習した感想を述べた。私は、この発言に衝撃を受けた。このように、感心する発言が度々飛び交った発表を聞いて、おん祭の知識はもちろんのこと、私には考えつかないような考えなどを子どもから学ぶことができた。私は、この活動支援に参加することで子どもから学ぶことの大切さを改めて感じた。



飛鳥小学校の児童の発表の様子



ゲームコーナーの子どもスタッフ

二つ目は、子どもおん祭の在り方についてである。子どもおん祭は、大人が作り、子どもを呼び、楽しみながらおん祭について学んでもらうものだと、私は思っていた。しかし実際に参加してみると、おん祭の説明展示パネルの製作者は子どもであったり、ゲームコーナーのスタッフを小学生の子どもが行っていたりと、何から何まで子どもが作っていることに驚いた。このように、参加者だけでなく運営する側にも子どもがいて、地域の子どもの手によって作られているお祭りであるのだと、この活動支援に参加して知ることができた。

とても素晴らしいお祭りであり、子どもだけでなく大人も学びに繋がる良い活動だと感じた。

この二つの点から、私たち学生にとって、大いに「子どもから学ぶ」ことができ、とても勉強になった。来年度も是非この活動に関わり、多くのことを学びたいと思う。